

広報



かわにし

昭和 60 年 1 / 10 No.317

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎ 0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

— 1月1日現在 —

男 4,809 (-1)

女 4,927 (-1)

計 9,736 (-2)

世帯数 2,331 (-7)

() 前月比較



六日は、町内の各地区ごとに出
初め式が行われました。
第一分団、第二分団は、午前十
時に千手神社の境内に出そろう、
降りしきる雪の中で、今年の無事
故、無火災を祈願しました。(昨
年は町内で二件の建物火災があ
りました)
冬期間は、暖房器具などの火気
を多く使用するため、取り扱いの
不注意による火災が多く発生して
います。
“あとでより 今が大切 火の始
末”
万一に備えて、各町内の消防水
利(水槽、消火栓など)の除雪に
もご協力ください。

1月の休日救急医

15日	富田	医院	(神明町)
20日	千手	診療所	
27日	中条	病院	(中条)

2月上旬の予定

3日	山口	医院	(下条)
10日	至誠	堂医院	(西浦町)
11日	池田	医院	(本町西)

議会 報告

第五回町議会定例会が、先月十八日から二十二日までの五日間の会期で開かれました。初日の十八日には、十氏が町政に対する一般質問に立ちました。十九日は、五十八年度の各会計決算の認定が主でした。二十日は休会となり、二十一日には条例の改正が行われています。最終日の二十二日は、各会計の補正予算などが審議され、いずれも原案どおり可決されました。

定例会の概要は次のとおりです。

十氏が二十二件の一般質問

克雪モデル地域の設定を

◆上村 広治 議員

①生葉開発推進事業の取り組みについて

川西町でも適地適作をするため、葉草栽培を研究され取り上げてみる考えはあるか。

②克雪モデル地域の設定について

(1)上野の国道から下町内の水の出ない消雪パイプ用井戸の手当はない消雪パイプの手当ができるまでの機械除雪の方法は

(3)溜池の用水を冬期間側溝や川に流して消雪用として役だてるため土地改良区との協議は

雪処理問題は、単に町内のモラルや意識の高揚をうたってみても自主的解決は難しい。川西町の町内にも克雪モデル地域を設定してはどうか。

◆南雲 町長

①新しい産物の開発は、簡単にはいかない。実践に移す前に、新農村地域定住促進事業のソフト活動を通じて、将来性、販路、適地適作などについて十分調査研究をして進めたいとしているところである。

②(1)消雪パイプ用井戸は町内に五十八本ある。この中の十八本の井戸は十分に機能しない状態にある。特に国県道の状態が悪い。県でも町の要請を受け、昭和五十五年か

都市計画道路のルートは

◆小林 寅雄 議員

- ①都市計画道路について
- (1)川西側計画道路のルートについて
- (2)道路幅員等の計画について
- (3)町道東山新町新田線の取付ルートについて

ら手当てしているが、厳しい財政状況で回復が追い付かないのが実状である。六十年代に中仙田の十八号井、次に上野の十号井、高原田の八号井という順で回復事業を進めていく。

- (2)県でも町の状況を十分に知っている。機械除雪でこれに対処する。
 - (3)川西ダムは、水量観測義務を負っていて、建設省に対して報告しなければならない。これが解除されないかぎり、たとえ冬期間だけといえども目的外の使用はできないという県農地部の見解がある。
- この時点で土地改良区と協議に入る段階ではない。
- 克雪は、行政の総力を挙げて対応すべきものであり、住民参加を積極的に求めて行っていくべきである。モデル地域の設定も、新しい問題として検討したい。

◆南雲 町長

- (4)答申計画道路の変更に伴う開発計画、道路計画に及ぼす影響について
- (5)本計画の推進と今後の見通しと対応について
- ②克雪の諸施策について
- (1)克雪対策の推進と取り組みの基本的姿勢について
- (2)来年度の消雪パイプ敷設計画について
- (3)来年度の流雪溝設置計画について
- (4)克雪事業の導入計画について
- (5)今冬の道路の除排雪計画について
- (6)受益者負担の導入について

- ①(1)国鉄水路橋の下流五十メートルの地点から現道沿いに古峯神社に上り、サージタンクの南側に出て昭和交通に出るプランがある。計画ルートが決まった段階で、さらに地元協議を進めていく。
- (2)両側に二・五メートルの歩道を取り、全幅を十二メートルにした。
- (3)克雪を中心とした将来の町づくりのためには東山新町新田線になくことが必要になる。
- (4)山野田原ルート案があったが、なん回となく検討が加えられた結果、先のルートに到達した。こうしたことで山野田原の開発が遅れるのではないかと心配の声があるが、取付道路の開削と平行して総合的な開発計画を設定する必要があると考えている。
- (5)橋のほうは、六十年代から実施設計に入る考えであり、取付道路については、一部用地買収に入りたいと考えている。建設省と県に對しては、新しい橋の完成を六十五年度目標でお願いしたいと陳情をしている。取付道路についてもこれらをめどに実施をしなければならぬ。
- ②(1)五十九年度から克雪対策の一環として、克雪住宅の融資制度を取り入れた。希望者には満額の予算化をしたい考えである。
- (2)川西町は地下水に余裕がない。消雪パイプの計画は根本的に見直す必要がある。特に国鉄の新しい発電所問題ともかわり合いを持ち、地下水の状態の観測を積極的に進める必要があると感じている。
- (3)流雪溝は、六十年代から一部道路の側溝改良という形で、町費で進めるといふことを考えてみたい。
- (4)防雪事業などがあるが、川西町に順番が回ってくるのは近い将来については難しい。六十年代は、除雪機械の導入、増強によって当座をしのぎたい。
- (5)きめ細かい対応をしていきたい。
- (6)来シーズンに実施をするという方向で、早めに対応をしたいと考えている。

図書館、公民館建設の 将来展望は

◆ 田中 与三郎 議員

- ①文化活動について
町には文化活動を行っている民間団体が多くあるが、町として後援する考えは
- ②独立した図書館、独立した公民館建設の将来展望は
- ③給与の人事院勧告と現況について
人事院勧告完全実施は、国の責任においてされなければならない。川西町の方針を伺いたい。
- ④昭和六十年一般会計予算の見通しについて

◆ 南 雲 町 長

- ①文化団体は、現在のようなあり方が望ましいと存じている。
- ②独立公民館、図書館の展望は、地域の教育力を高め、コミュニティ形成の場、あるいは芸術文化を高める場として必要であると思われる。しかし現状では財政的にも困難であり、見通しが立てにくい。
- ③人事院は、国会と内閣に対し、公務員の給与を六・四四パーセント引き上げるよう勧告をし、政府は引上率を二・三七パーセントに決めた。地方公務員の給与は、民間賃金との平均的格差を基準として出される人事院勧告に準拠することになっている、と受け止めている。
- ④歳入では、地方交付税の実質的

固定資産税率の 引き下げ方法

◆ 小 林 正 人 議員

- ①固定資産税率の軽減について
六十年年度からなん年計画で標準税率まで引き下げるのか
- ②条例改正はいつ提案されるのか
部落所有の公民館、集会所等の宅地にかかる固定資産税の免税について

◆ 南 雲 町 長

- 公民館、集会所等の地上物件は公共のために使用するということで、免税措置が取られている。宅地も同じ目的と解するので、免税の対象と考えられるが見解を伺う。
- ①財政事情が許せば、六十年年度以降毎年〇・一パーセントずつの引き下げを実施して、六十二年年度には標準税率の一・四パーセントの適用を実施したいと考えているが、先行きの見通しが極めてつけ

な伸びはほとんど期待できないと受け止めるべきである。町税も固定資産税の税率の引き下げとも絡み、増収は軽微にとどまると見ている。歳出では、学校建設や信濃川架橋関連の問題、克雪対策、定住促進対策、あるいは産業の振興などが上げられる。豊かで活力ある町づくりを目ざしながらも、財政構造の改善にかなりの力点をこういったうえで編成をしたい。



答 弁 す る 南 雲 町 長

情報公開 実施の考えは

◆ 戸 田 専 治 議員

- ①情報の公開について
情報の公開とは、役場が保有する各種の情報を、町民の請求に応じて提供し、町民の知る権利を保障することだが、町長は実施する考えをお持ちか
- ②公印の使用について
町長は、公印を押すことについての区分をどのように取り扱っているのか。
- ③保健センター的なものを造るという構想のもとで町が取得した土地について
この構想は、その後どのようになったのか。
- ④再び「簿書の安全保管のための金庫式書庫」について
火災、盗難等から簿書を守るため、金庫式書庫（書類を収蔵する倉庫）の建造を提案するが、町長の考えは。

◆ 南 雲 町 長

- ①情報公開制度の動きは早いテンポで広がっている。新潟県は、六十年制度強化に向けて準備中である。私も立候補に際し、公約の一

つに情報の公開を掲げた。町民参加の行政の実を上げるためにもぜひ必要な措置であるとの認識を持っており、前向きで検討をしている。この制度には、文書の整理をするなどの事前準備が必要である。

- ②役場処務規則によって取り扱っている。
- ③保健センターの建設は、総合開発計画では六十年年度を目標に掲げているが、国の予算の削減傾向と希望市町村の関係から六十年年度は見込めない実状にある。国の補助率は三分の一と比較的低い。川西町では六十一年度以降という事情になっている。指摘の土地は、五十八年度から上野小学校の農園として暫定的に利用していたでいてる。
- ④町の所持、収蔵する簿書は、住民の権利、義務にかかわる重要物件であるので、特に安全管理を旨とすべきであり、このことは基本的な事項である。ワープロによるテープ化、書庫の新築、役場の増築などの考え方もあるが、それらと込みにして前向きに検討をする段階になっている。

・一般質問の掲載は、紙面の都合で質問順ではありません。

（議会報告

次ページへ）

一般質問

◇南雲町長

霧谷埋立地には

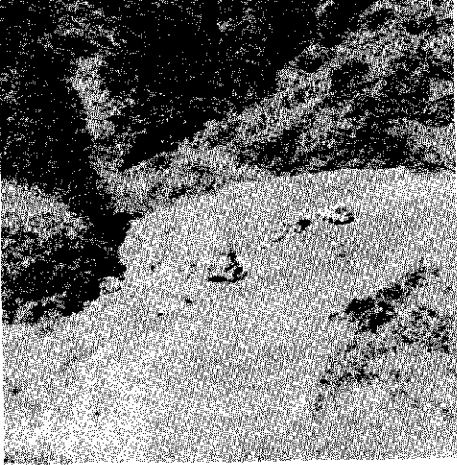
汚水処理施設が必要

◆滋野一郎議員

①霧谷ゴミ埋立地に汚水処理施設を

十日町市・川西町衛生施設組合の施設であるこの埋立地に、最終汚水を浄化するための汚水処理場を造る計画があるか。六十年代には霧谷の沢の下部にコンクリート擁壁を造り、埋立地の汚水を一か所に集水し、沈砂池を造るとのことだが、ここからパイプラインを通じて、室島高倉十日線国道わきに最終汚水処理場を一日も早く造ってもらいたい。

霧谷埋立地



今冬の

克雪対策は

◆戸田哲次議員

①今冬の克雪対策について

五六豪雪、五九豪雪と立て続けに大雪に見舞われたが、町では豪雪対策本部を設置し、議会の雪害対策特別委員会との連携のもとで、除雪対策や道路除雪等を強力に行い、町民の足を確保した。あれ以後、町民の足を確保した。あれ以後、町民の足を確保した。

◇南雲町長

①雪は町中に同時に降ってくる。

これを短期間に処理しなければならぬ。いかなる方法、手段を選択して効率的に行うかということ

◇高橋建設課長

新大橋に付帯する道路の流雪溝は、設計の中に組み入れることは可能かと思うが、上部団体の指導を得ながら考えていく。

モデル事業の

早期完成を

◆保坂次夫議員

①農村総合整備モデル事業の早期完成とフラッシュ使用料について

モデル事業は始めてから八年になるが事業の進捗率が悪い。千手地区のフラッシュ施設と洗い場施設の工事も進んでいない。また、地区民は町分担金条例によって、毎年三パーセントの分担金を納めて協力しているが、どうなっているのか伺いたい。

②千手地区にも下水道施設を設
将来千手地区に下水道施設を設

◇南雲町長

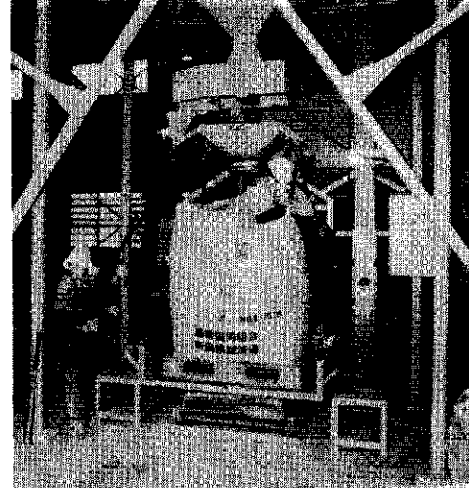
①モデル事業を実施する市町村が年々増えているが、国の予算は伸びていない。したがって予算配分は減少の傾向にある。こうしたことから川西町の全体事業はいつになったら完成するのかめどが立たない状況におかれている。このため、事業内容の見直しが必要と考えている。五十九年度は、モデル

◇南雲町長

現在供用開始のできるところと、以後数年かかるところのバランスがとれない。フラッシュ施設の推進対策協議会で使用料などについて検討していただきたい。

②フラッシュ事業がいつ終わるかを申し上げられない時点で、下水道事業にまで論を及ぼすことはできない。下水道事業がいらない事

業とは思っていない。
③十一月一日に事務段階の打ち合わせがあった。この時点での十日町市の要望事項としては、五か年見当で霧谷で下水道処理施設の汚泥を埋立処分させていたいただきたい。それにはコンクリート擁壁で沈砂池を造り万全を期したい。また、示した資料に基づいて住民協議に入ってほしいなどである。これに対して川西町からは、市の恒久対策が完全でない現状では、住民協議に入れる状況でない。一般廃棄物処理問題についても万全の措置を講じるのが先決である。最終の処理施設が必要ではないかなどと伝えている。下水道の汚泥は十分の処理をしてもらわなければならない。これらの問題は、一方面的に川西町が被害を被る立場にある。



ライスセンター（1t パックは3分でOK）

農業生産組織の

育成強化を

◆平野圭二議員

①農業生産組織の育成強化について

◆南雲町長

①川西町の基幹産業は農業である。

町長は、町政の基本として農業立町を掲げ、その政策の中に生産組織の育成強化を挙げている。わが川西町としては当然とはいえ、最も重要な問題である。農地離れの結果は故郷への愛着を失い、人口の流失となる。これを防止し、かつ農業の合理化政策に順応するには、生産組織の力によるよりほかにないと思われる。目下生産組織は様々な問題を抱えているが、人材の育成、組織の強化と将来への検討、経済援助について伺いたい。

農道維持管理料を

減額しないように

◆若山三郎議員

①県道幹線道路および農道の定義について

道路行政上の基本となる事柄なので条理的な定義について所見を伺う。

②農道維持管理料について

県営ほ場整備事業の造成完了とともに機能交換で国に帰属した道路等について、農道維持管理料と

◆南雲町長

して町から五百万円の補助金が土地改良区に出ているが、当面十年くらいは増額しても減額することのないように望みたい。

①町道は道路法上の道路であるが、農道には規定がない。農道を私なりに定義づけると、主として、あるいはもっぱら農業の用に供される道であると理解している。幹線道路は町道に認定され、東山新町新田線として町で管理をしている。農道については一般論として、町に管理義務はない。幹線道路は、

その農業の近代化によって労働力が生み出され、それを各人が新たな所得の増大に振り向けている。川西町農業の中心となってくれるのが、農業構造改善事業や地域農政特別対策事業等を通じて組織された生産組織である。川西町にとって、生産組織の存在は貴重なものであり、その育成強化はゆるがせにはならないと考えられる。このことから、九月に農業委員会に対し、農業生産組織の強化育成対策について諮問をした。十二月二十五日には答申をくださったとのことだが、答申の中で必要をものは六十年度の予算に反映させていくなど、誠意を持ってこれを実行に移す決意である。

町内の総合的な道路ネットの向上に大きく貢献している。こうしたことから他市町村に類例のない補助金を出している。

②土地改良区に対し、主線農道などの維持管理委託料として五百万円を支出している。将来については、これら建設に要した事業費に対する補助金、受益農家負担の事業費用等を概算して、農家負担の範囲でこの負担を軽減することを基本として検討すべきであるという考えもある。また、完全廃止すべしという論もあり、今後検討を重ねたい。

その農業の近代化によって労働力が生み出され、それを各人が新たな所得の増大に振り向けている。川西町農業の中心となってくれるのが、農業構造改善事業や地域農政特別対策事業等を通じて組織された生産組織である。川西町にとって、生産組織の存在は貴重なものであり、その育成強化はゆるがせにはならないと考えられる。このことから、九月に農業委員会に対し、農業生産組織の強化育成対策について諮問をした。十二月二十五日には答申をくださったとのことだが、答申の中で必要をものは六十年度の予算に反映させていくなど、誠意を持ってこれを実行に移す決意である。

58年度決算を認定

総額で

1億4,313万円の
黒字

58年度の各会計決算が別表のとおり認定されました。

一般会計では、過去最高の1億円台という大幅な黒字繰越となり、特別会計を含めての繰越総額は、1億4,313万円となりました。

これは、厳しい財政事情の中で、経費節減のために努力を積み重ねた結果ともいえます。

58年度各会計の決算状況

単位：円

会 計 区 分		歳 入	歳 出	差 引 額
一 般 会 計		2,934,170,547	2,826,858,954	107,311,593
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	443,600,275	440,112,693	3,487,582
	国 保 診 療 所	80,591,395	84,827,416	△ 4,236,021
	仙田へき地出張診療所	19,446,221	26,582,854	△ 7,136,633
	老 人 保 健	443,980,223	444,405,245	△ 425,022
	農 業 共 済 事 業	83,164,340	39,809,061	43,355,279
	簡 易 水 道 事 業	48,426,031	47,644,928	781,103
合 計		4,053,379,032	3,910,241,151	143,137,881

条例の改正

の一部改正

▽妊産婦及び乳児の医療費助成に関する条例の廃止に伴う経過措置に関する条例の一部改正

▽歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部改正

▽川西町職員の給与に関する条例の一部改正

▽国民健康保険診療所条例の一部改正
給料表などの改正がありました。給与は平均で二・三七パーセントのアップです。

▽乳児の医療費助成に関する条例改正

（議会報告次ページへ）

補正予算

架橋関連測量調査に 八百十七万円を追加

▽五十九年度一般会計補正予算
(第三号)
既定の予算に九百八十万五千円
を追加し、総額を歳入歳出それぞれ

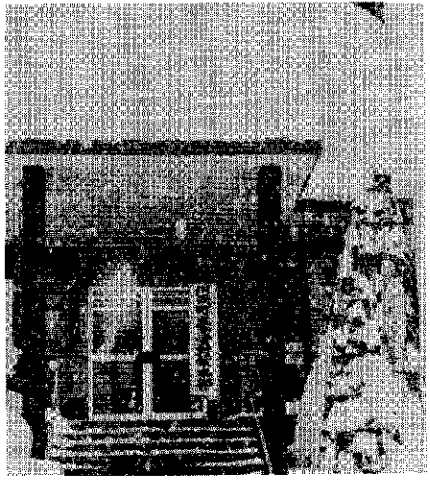
れ三十九億一千八十万五千円とし
ました。近代化施設整備事業費補
助金の千八万一千円の増と、信濃
川架橋関連測量調査負担金の八百
十七万円の増などがあります。
▽五十九年度一般会計補正予算
(第四号)
千八百十六万八千円を追加し、
総額は二十九億二千八百九十七万
三千円となりました。歳入は、追

加分が全額普通交付税です。歳出
では、職員の給料、手当関係が主
体となっています。
▽五十九年度国民健康保険特別会
計補正予算 (第三号)
五万円の追加がありました。
▽五十九年度国民健康保険診療所
特別会計補正予算 (第一号)
百七十四千円の追加です。
▽五十九年度仙田へき地出張診療

所特別会計補正予算 (第一号)
五十一万三千円の追加です。
▽五十九年度農業共済事業特別会
計補正予算 (第二号)
総額は変更していません。
▽五十九年度地域休養施設特別会
計補正予算 (第三号)
千七百六十万円の追加で、予算
総額は九千八百八十二万三千円と
なりました。歳入は、売上収入を

千三百八十二万三千円増とし、歳
出では、事業費に千七百四十三万
二千円を追加しました。
▽五十九年度簡易水道事業特別会
計補正予算 (第一号)
百二十万円の追加です。
▽五十九年度水道事業会計補正予
算 (第一号)
収益的収入及び支出を七百二十
七万三千円追加するなどです。

豪雪対策本部を設置



町では、先月28日の午前10時に
豪雪対策本部を設置しました。
この日の午前9時現在の積雪は
233 cmでした。
雪による事故や危険箇所を発見
された方は、ただちに役場の豪雪
対策本部 ☎(68) 3111 有線2133
へ連絡願います。

川西町の 積雪状況 (単位: cm)

月 日	60 年	59 年	58 年	57 年	56 年
1・1	260	132	50	14	220
1・5	228	155	42	15	257

役場の玄関に
豪雪対策本部
の看板が立つ

雪崩の中から 7時間ぶりに生還

齋木マスエさん
冷静に救助を待つ

先月三十日午後五時三十分ごろ、
国道404号線・室島地内のスノ
ーシェードから小脇方面五十メー
トル付近で、道路わきの斜面から
幅三十メートル、高さ三十メート
ルにわたって雪崩が起き、室島へ
向かって歩いていたら小脇の齋木マ
スエさんが巻き込まれてしまいま
した。
七時ごろ帰宅したご主人の定夫
さんはこのことに気づき、村の人
と現場へ急ぎました。

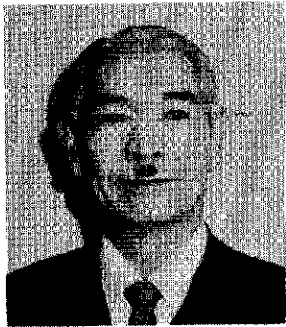
役場へは小脇の区長から九時四
十分に連絡が入り、九時四十四分
に分遣所へ連絡、消防団への出動
命令は九時五十一分に出了した。
警察署員、消防団員、一般協力
者など合わせて七十人の方々が懸
命の救助活動に当たりました。
翌三十一日の午前零時三十分、
雪の中のはかな灯りを発見、そ
の部分を探り、七時間ぶりにマス
エさんを助け出しました。同四十
五分救急車に収容し、一時三十八
分十日町病院に到着しました。

マスエさんの話によると、「山
際を歩いていたらボソボソと雪が
落ちてきて、立ったまま埋まって
しまいました。片手で顔の回りの
雪を除き、呼吸ができるようにし
ました。七時半ごろまで時計を見
ながら救助を待っていました。が、
息が苦しくなり、その後のことは
まったく覚えていません」とこのこ
とでした。
マスエさんは、七時間も二メー

心温まる光景

先月三十日のこと。下平新田の
町営住宅で、三、四人の男の方と
四、五人の女の方が屋根の雪下ろ
しをしていました。住宅にお住い
の先生の教え子の父兄の方々でし
たが、棟続きになっている両隣の
屋根まで頼まれもしないのにきれ
いにしました。自分の屋根の雪下
ろしがたいへんとき、心温まる
光景でした。(下平新田、小川清
次さんのお便りから)

町発展のために努力



川西町 議会議長

小川 清 次

昭和六十年の新春明けましておめでとうございます。年頭に当たり謹んで町民皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昭和の年号もいよいよ還暦を迎えました。わが国には高齢化社会が到来し、国民の価値観の多様化等、さまざまな面で成熟化が進みつつあります。国の経済面においても、長年続いている景気の低迷も、幸いにして昨年春以来ようやく回復の兆しが見えて来たとかと報じられています。魚沼地方では、産業の中心が米穀を主とした農産物の生産と織物関連業からなっているため、当地方の景気回復の兆しは程遠い感じがいたします。

幸いにして私たち川西町にありましては、



川西町 長

南 雲 春 雄

明けましておめでとうございます。昭和六十年のさわやかな新春を迎え、皆様のご健康とご繁栄を心からお祈り申し上げます。皆様には平素町勢の伸展のため、特段のご鞭撻ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は四十年ぶりの豪雪で明け、雪消えの遅れや冷夏予報などで、不安の多いスタートでありました。しかし、結果は葉たばこの売り上げ二億円割れのほか、一昨年多かった火災もボヤ二件で済み、米は大豊作を記録して七万俵出荷を達成するなど、概して平穩裡に経過いたしました。また、ことにご同慶に堪えない次第でございます。本年は昭和も還暦を数え、六十年代の除幕を迎えました。内外の情勢はまことに「厳しい」の一言に尽きる感じがいたします。

すなわち、年末決定した昭和六十年年度国家予算案は、累積する国債の元利償還の重荷のために、一般歳出は引き続いて削減されています。加えて地方団体に一率に一部の負担を転嫁するなど、苦しい手段を講じています。私は、国家財政事情を直視すると、これは単なる一時的現象では止まらず、今後は新税創設を含む緊縮基調は、ますます強化されると受け止めております。

したがって、そのような先行き不透明な事態に対応し得る町財政体質強化を図ることが急務と存じます。

当面する行政課題は、健全財政の確立を軸としながらも、「優先劣後」を厳しくチェックし、

①住民に密着した克雪対策の強化
②若者に定住・雇用の場を与える企業誘致

③農業生産の拡大と、経営の合理化を強く進めることが必要であります。克雪対策は、議会のご要請にこたえ「克雪基本計画」の策定を図ります。企業誘致は町経済活性化の最も有効な手段であります。仙田地区の定住事業導入と併せて進めます。農業は、年末に農業委員会からいただいた答申の方針に添って、早急に予算措置をする考えであります。

また、国鉄小千谷第二発電所、信濃川新橋架設と取付道路の整備や、その周辺開発等々、重要問題が山積しています。皆様方のいっそうのお力添えを切にお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご自愛とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

三年続きの豊作と誘致工場が年々逐次雇用の増加を図っていることは、まことに喜ばしいことと思っております。

また、一昨五十八年、南雲町長が就任後間もなく樹立いたしました川西町の第四次総合開発計画には、一つに基礎的條件の整備、二つに産業の振興、三つ目に福祉の充実、四つに生活環境の整備、五つに教育の振興、六つに行財政の適正化、七つには地域計画等が多岐にわたって掲げられています。これらの計画は順調に進捗し、昨年も数多くの実績を上げることができました。

これもひとえに町民各位の献身的なご協力によるものであり、深く感謝いたしておる次第であります。

昭和六十年の新春を迎えるに当たりまし

て、まず、豪雪に対する消除雪対策や水資源の涵養開発・確保、住民の福祉や交通安全対策、青少年の健全育成等々を推し進めるため、私たち地方自治に携わる議員といたしましては心を新たにしておるところであります。

一万町民の信託にこたえ、町発展のため、町政の諸問題と行政の方向付け、指針等を慎重に審議いたしまして、町民各位のご期待に添うべく、最大の努力をいたす決意であります。本年もよろしくご指導とご鞭撻をくださいますよう、切にお願い申し上げます。

終わりに臨み、本年も川西町のますますの発展をこいねがいまして、新年のごあいさついたします。

農業委員会が

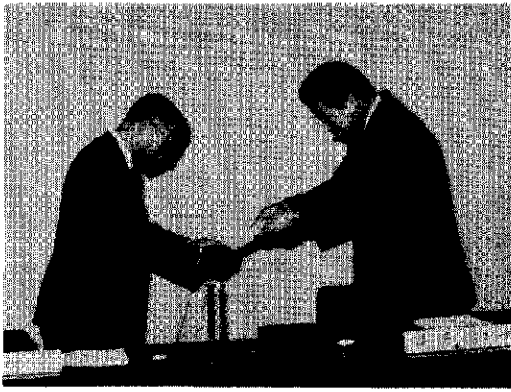
「生産組織の強化育成」を答申

川西町農業にとって不可欠の存在となっている生産組織が、近年農業はなれなどによって、後継者問題を含め、先き行きに不安なしとは言えない現状にあります。

このような状況の中で、さらに町の農業振興を図るため、南雲町長は、昨年九月四日付で、「川西町における農業生産組織の強化育成について」の諮問を川西町農業委員会にしました。

農業委員会では、全農家に対するアンケートを実施するなどして、当面改善しなければならぬ事項

滋野会長から答申書を受ける町長



を拾い上げ、それを中心に審議を重ね、答申書を作成し、これを先月二十五日に答申しています。

答申書の概略は次のとおりです。

生産組織の現状と問題点

① 生産組織の体系

川西町では、農業の構造改善を町と農業関係団体、農家が一体となつて強力に推進してきた。その実践組織として結成され、農業の近代化を推進してきたのが生産組合とその連合体の機械利用組合である。

② 生産組織の加入状況

農業生産組織の加入状況は、千手地区が八三・八パーセント、上野地区が七六・六パーセント、橘地区が六八・三パーセントであり、東部地域平均は七六・五パーセントである。西部地域は五八・一パーセントとなっている。

③ 生産組織の加入面積

千手地区が三百二十三ヘクター

ル（八六・八％）、上野地区が百九十七ヘクター（七二・一％）、橘地区が百三二ヘクター（四四・二％）で、東部地域の合計で六百二十三ヘクター（七〇・九％）の加入面積（率）になっている。西部地域は育苗施設利用組合に七十五ヘクターが加入している。

④ 機械施設利用状況

東部地域では、加入面積に対し、トラクター耕うんが六八・三パーセント、代かき六五・二パーセント、田植六六・三パーセント、コ

改善すべき方向

① 参加と出資と利用の原則と加入促進

生産組織は、組合員と組合間の信頼関係によって運営され、発展するものである。したがって、あくまでも参加・出資・利用でなければならぬ。全組織が早急にこの体制を確立すべきである。また、地区内の全農家、全面加入を旨とし、未加入者の加入を強力に推進すべきである。

② 中核農家・担い手農家育成とオペレーターの確保

農業生産組織は、その中核をなす農家とオペレーターの育成確保が重点事項である。そのためには

ンバイン七四パーセントの利用率である。

育苗センターの利用率は、千手地区が九九・一パーセント、上野地区六八・一パーセント、橘地区五一・三パーセント、仙田地区三二・六パーセントで、町全体では六七・二パーセントとなる。

ライスセンターでは、千手地区八五・二パーセント、上野地区六五・三パーセント、橘地区六四・一パーセント、東部地域平均では七三・六パーセントとなる。

これらの利用率は、県下一であ

これら担い手農家の安定した所得対策が必要となり、特に冬期間の就労対策が当面の課題である。

③ 機械施設の更新のための利子補給制度の創設

減価償却期間の経過等に伴い、各生産組織は農業機械の更新時期に多額の資金が必要となっている。しかし、機械施設の修理費がかさんだり、転作による利用量の減、それに農機具の価額が上がったりで、資金調達には一様に苦慮している。

そこでその対策として、次のような措置を講じる必要がある。

(1) 地域再編整備資金制度など低利な融資制度の有効活用

(2) 貸付利率に対する利子補給制度（二・三％くらい）の創設

り、各ライスセンターが仕上げる米はほとんどが一等米である。

⑤ 生産組織の経営内容

機械施設の更新期を迎えて、資金繰りに苦慮している組織が過半数を占めている。

⑥ オペレーターについて

各生産組織の中核であり、オペレーターとなるべき担い手農家の規模拡大が進まないため、後継者を生み出す力が弱くなっている。

ほかには、④東部地域におけるライスセンター施設の改善、⑤ほ場条件の改善、⑥稲作栽培技術による増収対策、⑦農業生産組織に結びつく農地流動化対策、⑧農業生産組織の育成指導の強化、を掲げています。

町長が抱負を述べる

「川西の町勢発展は、あくまでも農業立町からなるという基本姿勢で貫かれている。農業を取り巻く情勢は厳しいが、町の農業をいかに発展させていくかを考えなければならぬ。この答申を、川西町農業を支える生産組織の育成強化のための羅針盤としていく。必要なものは六十年度予算から実行に移したい」と抱負を述べました。

(1)税制上の特典

特別控除 100 万円が 500
万円に

税率軽減 $\frac{50}{1000}$ が $\frac{12}{1000}$ に
(農地保有合理化促進事
業は $\frac{16}{1000}$)

軽減措置 取得価格の $\frac{1}{3}$ 控除

(農用地利用増進事業の場合には農用地区域外の農振地域でも $\frac{1}{2}$ 控除)

貸付限度額は一般的には200万円までですが、次の事業の場合、限度額が引き上げられます。

④農業委員会あっせん・農地保有合理化促進事業 1,000万
円

④農用地利用増進事業 1,500
万円

(年利率 3.5 % 償還期限
25年以内)

税制・金融面
でも有利な
特例、特典が
数多くあります。



貸し付けは

町内の農業者に！

農業委員会では、低利資金の活用や税制面において特例、または特典のある次のような事業を農家

なお、貸し手農家には、次のような農地流動化奨励金が出ます。

③農地移動適正化あつせん事業
農地移動適正化あつせん事業は、農業振興地域内の農地等について農業委員会が権利移動のあつせんを実施する事業です。

なお、借り入れの場合、小作料を十年分前払いする特典もあります。(例―田一級の場合、二万七千円×十年＝二十七万円)

①農地利用增進事業

農用地利用増進事業は、農地の

各事業内容は次のとおりです。

のために、農地の流動化を図っています。

また、移動させる相手方は、川西町の農地を守るため、でき得る限り「川西町内の農業者に」と願っています。

*三年以上六年未満 十アール当たり八千円

*六年以上十年未満 十アール当

たり二万円

円 十アール当たり三万

② 農地保有合理化促進事業

農地保有合理化促進事業は、新潟県農業公社が農地を買い入れ、または借り入れて、これを農業生産の担い手に売り渡し、または貸し付ける事業です。

農業センサスに

ご協力を

二月一日現在で、わが国のすべての農業を営む方々を対象として、農業センサスが実施されます。

昭和二十五年から五年ごとに行

われているこの調査は、わが国の農家数、耕地面積、農業経営の概況など、農業の現状を明らかにし農業に関する各種施策の推進に大きく貢献してきました。

農業は、日常生活に欠かすことのできない食料を安定的に供給するとともに、国土や自然環境の保全に大きな役割を果たしています。しかしながら、わが国農業は、数多くの問題を抱えており、その解決のために各種施策の充実強化を図っていく必要があります。

こうした中で、農家が健全な農業を営めるよう、需給の動行や地域の実態に即した農業生産の振興を図るとともに、その基盤となる新しい村づくりが進められているところです。

今後これらの施策をいっそう充実させ、さらに発展させていく必要がありますが、農業センサスは、このための基礎資料を提供することを使命とした非常に重要な

「農業の国勢調査」なのです。

特に、川西町は、昭和四十年代後期から五十年代初期にかけて実施した県営農場整備事業、第二次農業構造改善事業等にみられる積極的な投資などが示すように、農業が一貫して町の主要産業であり今後ともその方向は変わらないと予想される現状ですので、農業セクタスは今後の町づくりの重要な資料の一つとなります。

調査は一月下旬から

一月下旬から二月上旬にかけて
その対象となる農家を調査員が訪
問し、各項目について聞き取り調
査を行いますのでご協力ください。

☆農業センサスで

いう農家とは

① 経営耕地面積が十アール以上
一反歩以上

②過去一年間の農産物販売金

額が十万円以上のいずれかに該当するものをいいます



昭和60年度 転作等目標面積は 104.2ヘクタール

昭和60年度の転作等目標面積が、昨年12月20日に県から別表のとおり配分内示されました。国では、昭和60年度の転作等目標面積を決定するに当たり、「転作の定着化と他用途利用米の生産確保、ゆとりある米管理の確保、過剰米発生防止などの点に留意した」としています。

川西町の60年度転作等目標面積

区 分	昭和60年度	昭和59年度	前年度比較 (60-59)
転作等目標面積	104.2ha	109.9ha	△5.7ha
内 転 作	93.7	99.5	△5.8
他用途利用米 (生産予定数量60kg/俵)	10.5 (801俵)	10.4 (808俵)	0.1 (△7俵)

※他用途利用米の昭和59年度面積には青刈稻からの移行分を含んでいない。

各集落への配分は 2月中旬ごろ

川西町への配分面積は104.2haで、前年度の109.9haに比べると5.7ha少なくなっています。

目標面積を前年度と比較すると、全国が4.3%減、県が4.8%減、川西町では5.2%の減となっており、米産県や良質米生産地等への配慮が加えられています。

町では、2月中旬ごろに各集落への配分を行う予定ですので、水田利用再編対策の趣旨をご理解いただき、目標達成に向け、農家の皆さん方をはじめ、関係各位のご協力をお願いします。

なお、昭和59年度の川西町の転作達成率は、104.6%となっており、その内容も団地化率55%という良好な成績でした。

優秀作品決定！

「米消費拡大標語」

「お米・ごはん・健康」等をテーマとした標語を募集し、川西町米消費拡大推進協議会で審査した結果、次の標語が優秀作品に決定しました。(敬称略)

▽一席

康づくり
中仙田・小林 茂人

▽三席

川西米 つくって食べて 健康

家族 中仙田・小林 茂人

うまい米 みんなで食べて 健康

▽二席

米の味 ふるさとの味 母の味

小白倉・田中貴代栄

米のおいしさ

小白倉・田中貴代栄

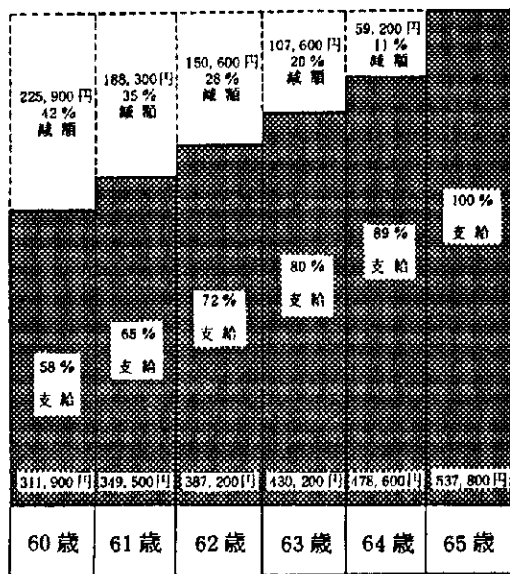
米の味 ふるさとの味 母の味

小白倉・田中貴代栄

米のおいしさ

小白倉・田中貴代栄

例 大正13年4月2日生まれの人が23年間納付した場合



※年金額は58年度現在の額です

このように、六十五歳前に年金を受けることを繰り上げ請求し、繰り上げ請求は、受給を希望した年齢に応じて、表のように

また、いったん繰り上げ支給を受けた場合、後になって年金額が少ないなどの理由で請求を

取り消したり、繰り上げを希望した年齢の変更などはできません。

《よく考えて慎重に》

長い間保険料を納め続け、六十歳になられた人にとって、年金は待ち遠しいものであり、早く受けたい気持ちはよく分かりますが、「みんなが受けているから」とか「先のことは分からない」と、安易な気持ちで請求しますと、ほんとうに年金が必要になったときに、少ない年金では後悔することになります。繰り上げ請求をする前に健康状態や家計のことなど十分考えて、自分の意思で請求するようにしてください。

ねん

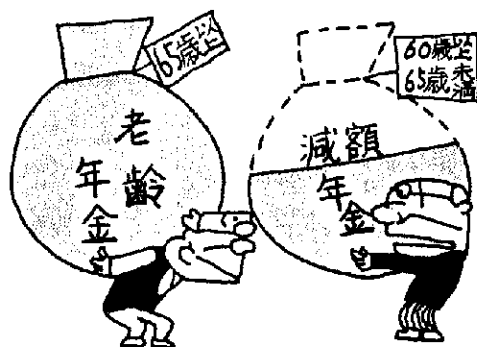
六十歳からでは損か得か

繰り上げ請求は

よく考えて

きん

ふくし



御代官様の廻村

上野と千手のほとんどを占めた山谷組二十か村（桑名預り領）を除き、会津預り領であった野口・仁田・友重・弘道新田・寺ヶ崎・沖立・宗正・上新井・仙田の村々が幕府直轄領に復して、脇野町（現三島郡三島町）から川浦代官所（現中頸城郡三和村）へ組み替えになったのは嘉永元年（一八四八）のことであった。

直轄領代官であった里見源左衛門は、このときから安政五年（一八五八）に転任するまで十余年間の勤役中に、おおむね年一回、早生稲が刈られるころになると、その年の作柄を調べる検見を中心に管内を廻村したようである。ちょうど農繁期に差し掛かって、御代官をお迎えする村々は、人馬の継ぎ立てや接待をはじめに手落ちや失礼があつてはならないと諸事万端たいへんな気の使いようであつた。

安政二年（一八五五）九月五日のこと、松代村から名ヶ山の薬師街道を越えて千手に入り、上新井村で昼食を終えた御代官里見源左衛門は、上野村から仁田・野口村の中心部を通過して同夜は真人村に泊まった。野口の野沢家文書に

よると、この日の御継立は両村の中間である野口村が担当して、人足三十六人と馬三匹を差し立てた。御代官は、真人村への途中で野沢家へ御留陣になり、小中食をとられたが、御人数は上下十五人でこのときの部屋割は次のようであつた。

御代官様 一間
御用人一人、御侍二人で一間

町史の窓

御付添の相沢、福原、桑原様で一間

御足輕二人、小者二人で一間
御手廻 三人で一間
野沢家では、小中食の前に生酒三升を出し、食後はなし、ぶどうなどの果物でもてなしている。

安政四年（一八五七）八月二十九日にも、川浦代官手代の大須賀という役人の手附であつた福原貞蔵、相沢伝五郎の連名で、野口村の役人中にあてて御代官様御廻村の先触れが順達されている。

このたび、御代官里見源左衛門が、田方検見のため次の日程で俄に管内を御廻村されることになった。関係の村々においては、この御廻村が滞りなく行われるために人足一八人と馬四匹を指定の日持に差立て、渡船の有之場所では船を用意してそれぞれ継立てるようになお又、泊り宿及び昼食宿に当る村々は、上下合わせて一五人分の賄を用意して諸事に差支えないように、という内容であつた。

御廻村の日程
九月一日、明六つ（午前六時）

に川浦役所御出立、川浦、沖柳、願聖寺（昼食・泊）

二日、大嶋（昼食）、蒲生、松代（泊）、小荒戸

三日、大平（昼食）、松代（泊）、犬伏

四日、峠（昼食）、上新井、沖立（泊）

五日、弘道新田、仁田、野口（三カ村のうち、いずれかで昼食）

六日、真人より乗船、牛ヶ嶋新田（泊）

七日、川口（昼食・泊）、西川

口、小千谷

八日、真人（昼食）、中条、十日町（泊）

九日、六箇（昼食・泊）

十日、伊達（昼食）、新保（泊）、貝野

十一日、上（昼食）、藤倉（泊）、十二日、浦田口（昼食）、室野、大嶋（昼食、小中食か）

十三日、岡田を経て川浦御帰着
人足一八人の内訳

二人 具足

四人 乗物一挺をかつぐ

一人 雨掛一荷を運ぶ

一人 合羽籠一荷を運ぶ

一人 竹馬一荷を運ぶ

九人 駕籠三挺をかつぐ

御代官様のほかにも、先触れもなく突然訪ねてくる御役人がしばしばで、このような場合も、遺漏のないようにお相手、接待しなければならず、そのつどかなりの交際費が使われたようである。

慶応二年（一八六六）七月一日

に、江戸へ向かう御役人（山崎様）

が野沢家へ止宿したが、この賄のために使い走りの人足衆五人が買

い出しなどに動き回り、女衆のお

かよ、おちや、およし、おきくの

四人が勝手元を担当した。ちなみ

に、「郡中内入用附立帳」から当

日買求めた主な品を列記すると

次のようになり、山崎という人物

がいかにもいせつな御客様であつ

たかが分かる。

鯛二枚、あまだい二つ、さざえ

二〇個、大かまぼこ二本、石持四

つ、あら二本、小鯛二枚、大さば

二本、りんご一五個、たまご二一

個、酒五升、他に油、ごぼう、し

いたけ、ロウソク、しょう油など、

七月一日の夕飯から翌二日の朝食

に要した費用は金一朱と錢十八貫

九百文であつた。

これだけの金と錢を、カキバナ

シ（食事なし）で現在の作日料に

換算すると約二十万円、屈強な

トウド衆を実に五十四人も雇える

ことになる。当時は一日の作日料

が男三百八十文、女二百五十文で

酒一升の値段は二百五十文であつ

た。生魚は、家でジツとしていて

も移動販売車が売りに来る現在と

違って、運搬や保存がたいへんで

あつたらしく、鯛一枚が一貫二百

文、小鯛一枚が百二十五文、大き

ば一本が三百二十文、さざえ一個

が十九文、大かまぼこ一本が三百

八十文であつた。一晩に灯したロ

ウソク代がしめて五百文で、生活

必需品の食用油が一合百五十文で

買えたことに比べると、生魚がず

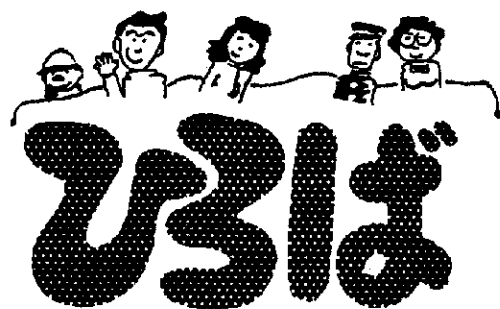
ばぬけて高価であつたこと、それ

でもどうにか買ひ求めて食膳をに

ぎわし、粗相のないようにもてな

さなければならなかつたことが分

かる。



今回の「ひろば」では、全国高校駅伝大会に出場した十日町高校チームの川西中学校出身4選手から、全国大会で感じたこと、を寄稿していただき、それをまとめました。

「ひろば」へホットなお便りをお寄せください。あて先は総務課文書広報係です。各出張所、連絡所に設置してある「町政ポスト」を利用いただいてもけっこうです。

全国高校駅伝

十日町高校は2時間15分8秒

第三十五回全国高校駅伝競走大会(七区間42・195キロ)は、先月二十三日に京都市で開かれました。

五十八校が都大路に健脚を競い、その結果、2時間8分5秒で報徳学園(兵庫県)がV2を達成しました。

北信越代表として出場した十日町高校は、2時間15分8秒で4位となりました。

十日町高校チームには川西中学校出身者が四人おり、小林俊久選手が花の一区10キロを、市川敦選手がアンカー(七区)として5キロをそれぞれ力走しました。櫃間光徳選手と教藤和明選手は、今回

は走れませんでした。が、「次回こそは」と張り切っていました。

都大路に

川西健児の雄姿

強い精神力が必要

小林俊久君

(3年・中島町)

ました。

しかしながら、結果は自分の目標をはるかに下回る32分21秒という記録に終わってしまいました。私の一区でのつまずきが後の区間



の出場であり、また最後のレースでした。それゆえに「今度こそはやってやろう」と思い大会に挑み

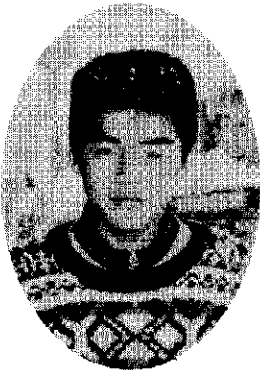
にも尾を引いてしまったという感じでした。
もし、私が目標タイムの31分49秒ぐらいで走っていたならば、次の走者も他校のランナーとの争いの中で、自分の力を十分に出せたものと思います。
この大会を経て最も深く心に焼き付いたことは、大きな大会でも自分の力を出しきることのできる強い精神力が必要であるということです。私の心にあるまだまだ甘い点を鍛えなおし、競技者として人間として、りっぱになれるよう努力したいと思います。

すがすがしい気分

市川 敦 君

(3年・中屋敷)

ことや、一昨年と同じ七区を走るということで、おくせずして走れる自信を持っていました。



しかし、結果はといえば、必ずしも満足のいくものではなく、応援してくださった皆さんの期待に添うことはできませんでした。前回と同様、全国大会の雰囲気にくれた、と言えらると思います。自分の個人の記録においても、目標に一步及ばず、高校生活最後のレースに、少々悔いが残りそうでした。

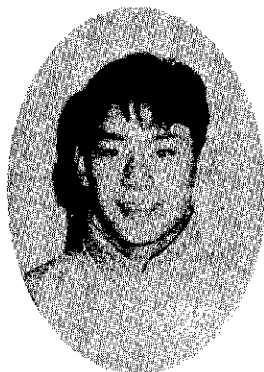
がしかし、監督の渡辺先生の、「全力を尽くしたのだから、それでよし」という言葉に、救われたような気持ちになりました。
今回が、今まででいちばん完全燃焼できたと思います。ゴールした後は、とてもすがすがしい気分が充実感がありました。やはりそれがいちばんたいせつなのだと、いまさらながら痛感しました。
成績不振は、大会までの練習に問題があるのであって、レース中に死に物狂いで走る選手には、怠慢な心など少しもありません。
良き指導者くださった先生方に深く感謝するとともに、ご声援をくださった皆さんに、心からお礼を申し上げます。

今回は記念大会でしたので、各県代表に地区代表を加えた五十八

今度は京都で走りたい

数 藤 和 明 君

(1年・沖立)



その壁の厚さをしみじみと感じました。

全国大会や北信越大会では走れませんでした。県大会のときは

校が出場しました。十日町高校は北信越代表として出場したわけですが、全国大会をこの目で見て、

県大会では惜しくも敗れましたが、北信越大会で優勝して地区代表になり、全国大会行きを決めました。走ることはできませんでしたが、たいへんうれしかったです。千葉県の順天堂大学での合宿を経ての京都入りでした。期末テスト後すぐだったので、やや体調を

あらゆる面でプラス

櫃 間 光 徳 君

(2年・伊友)



くずしていた人もいたようですが、合宿を終えて京都入りするころには、選手一人一人ある程度調子を

取り戻していたと思います。

打倒燕高校、新潟県高校記録更新を目標に本番に臨みました。一区から激しいレースが展開され、苦戦を強いられました。選手一人一人ががんばって、2時間15分8秒という十日町高校記録を塗り替えるタイムでゴールしました。目標は達成できませんでしたが、選手全員必死に走りきりました。

僕は走れませんでした。全国大会はすごいなあと思いました。上位のチームと下位のチームとでは力の差はありましたが、それぞれの地域で各チームの力が接近しているために、同タイム、一秒差などが多く見られました。中継所での激しさにも驚かされました。県大会、北信越大会とはレベルの差、規模の違いを感じました。

これからは、今まで中心だった三年生が抜け、一、二年生が中心となつてがんばっていかねければなりません。今回の全国大会出場は、あらゆる面でプラスになつていくと思います。

自分自身としては、弱い精神面を強化して、もっともつと努力を重ね、次回も全国大会に行けるようにがんばりたいと思います。

六区(五キロ)を区間二位の16分10秒で走りました。

学校での練習のほかに、早朝や夜間の自主トレーニングを積み重ね、5キロを5分30秒くらいでコンスタントに走れるようにするため、いっしょうけんめいがんばります。

十日町高校には、いいランナーがそろっています。力を合わせて県大会を突破し、今度は正選手として京都で走りたいと思います。

わしの自慢

数ある趣味の中から

「絵画」を選ぶ

東善寺

斎藤 幸 雄 さん

学校へ行っていたころは、絵は好きでもなんでもなかったという斎藤さんは、十二、三年前にフランスの女優の似顔絵を描き、それを友達にほめられたことが心に焼き付いているらしい。「私は、いっぱい趣味がありましてね。オートバイ、エレクトーン、それにダンスなどもやっていました」

ところが六年ほど前に階段から落ち、左手首を複雑骨折してしまったそうである。

「それから、楽しみを絵筆に切り替えたのです。ちょうどそのころ、町の美術協会が絵の講習会を中学校などで開いていました。月二回くらいでしたが、私もしばらく通いました」

気の向くままに油絵にふたり、水彩画にふたりとのこと。

「水彩画は制作期間が短

くていいですよ」

以前は、絵の通信教育を受けていたとのことだが、今は「一枚の絵」や「月刊ボザール」という本を参考にされている。

「夜は周りが静かになり、落ち着いて描けます。ダンスの絵は鏡の前でポーズを取りながら描きました」

スケッチブックの代わりにカメラを持って、オートバイでいい景色を求めに方々へ出かけたとのこと。

「乗鞍へも行きました。海は年ごとに風景が変化していることも知りました」

色を付けているときがいちばん楽しいらしい。

「で、上がりを頭に描いているため恐ろしさも半分ですが」山のシリーズものを手ごろの大ききのキャンバスに描く、これが斎藤さんの抱負なのである。



大きな絵は「二十歳の朝」です

子守帯「ママラッキーⅡ」 使用の方へ

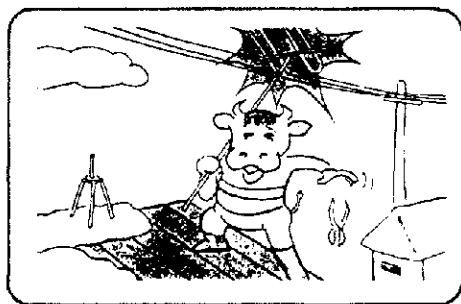
ラッキー工業(株)社製子守帯「ママラッキーⅡ」の製品欠陥から、赤ちゃんの転落事故が発生しました。同社では、この「ママラッキーⅡ」の回収を行っています。

この製品には、背当てに「MAMALUCKYⅡ」とししゅうしてありますので、転落事故を防止するために確認をお願いします。

◎子守帯「ママラッキーⅡ」についての連絡と返送先 〒503-24 岐阜県揖斐郡池田町青柳83-8 ラッキー工業株式会社
☎058545-3131

※不明な点がありましたら、役場保健衛生課までお問い合わせください。

電線にご注意を！



感電事故に気をつけて、楽しい冬を過ごしましょう。

▶注意事項

- ①切れた電線にはぜったいさわらない
- ②雪下ろしのときは引込線に注意
- ③クレーン車のアームの動く範囲に電線はないか
- ④作業をするときは電線に注意

▶連絡先

東北電力十日町営業所〔☎523107〕

停電の お知らせ

今回は
ありません。

成人になられた皆さんへ 「あなたも検察審査員 に選ばれます」

成人になられた皆さんは、選挙権を持ち選挙人名簿に登録されますが、また選挙権とは別に検察審査員に選ばれることがあります。

検察審査会とは、皆さんの中からくじで選んだ審査員11人から成り(法律職にある人は審査員にはなれない)、検察官のした不起訴処分等被害者の不服申し立てを審査するのが主な仕事です。

検察審査会は、民主主義に則った刑事裁判の民主化制度で、検察事務を正しくするため、民意を反映させる唯一の制度です。

交通事故、暴力事件などの犯罪について検察官のした不起訴処分について不満のあるときは、検察審査会に申し出てください。

検察審査会の事務局は、各地の裁判所の中であって、審査員の選定事務、また不起訴処分に不満のある方の相談も行っています。

審査の申し立て手続きには、いっさい費用はかかりません。

▶長岡検察審査会事務局〔長岡市三和3丁目9番地28 裁判所構内
☎0258(35)2141〕

川や湖の 水質保全に協力を

有りん合成洗剤(リン酸塩を数%~10%程度含むもの)から出るリンが、流れの悪い川や湖に流れ込むと、富栄養化が進み悪臭や藻などの大量発生が起き、魚が死んだりします。

琵琶湖では、この富栄養化が進み深刻な状態であり、有リン合成洗剤の不使用運動が展開されていることは、皆さんご存じのことと思います。

また、無リンの合成洗剤や粉せっけんでも水は汚れますので、製品の表示をよく読んで、使い過ぎないようにしましょう。

たいせつな水資源の水質保全にご協力ください。

ガイド 情報

働きながら 高等学校教育を

働きながら高等学校教育を受けることができる定時制・通信制課程の昭和60年度入学生を次により募集します。

◇募集する学校

定時制 県内の公立高等学校22校26学級(十日町高等学校は1学級40人)

通信制 新潟高等学校(〒951新潟市関屋下川原町2丁目635番地)
高田南城高等学校(〒943上越市南城町3丁目3番8号)

◇応募資格

*昭和60年3月に中学校もしくはこれに準ずる学校を卒業する見込みの人

*中学校もしくはこれに準ずる学校を卒業した人

*中学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人

※年齢・性別を問わない

◇願書提出

定時制 2月4日~2月13日(正午)

通信制 2月21日~4月10日

◇学力検査(定時制課程だけ)

3月18日(月) 国語・数学・英語・社会・理科について
全日制と同時に実施

◇問い合わせ

*出願手続……出身中学校

*学習内容等……出願する高等学校

*その他……県教育庁高等学校教育課(〒951新潟市一番堀通町59番地) ☎23-5511内線3664・3665



善意

次の善意が寄せられました。

●過疎対策のためにと

※大塚富美子さん（東京・日野市）から七十万円

●交通安全のためにと

※須藤製作所（下原）から十万円

●社会福祉協議会へ

※高橋建さん（伊友）から五万円

※詩吟神風流川西支部から二万五千円

※新潟川西農協婦人部から一万三千三百五十円

※上野地区婦人会から一万五千六百二十八円

※喜多美さん（四郎兼）から三万円

新しい嘱託員

①（敬称略）

【千手地区】

- 中島町 太田 政雄
- 山野田 北村 公男
- 発電所通西 星名 隆
- 発電所通東 高橋 寅義
- 永久公社 入沢 忠義

【橘地区】

- 木落 田口 淑
- 寺ヶ崎 清水 邦吉
- 塩辛 藤巻 博
- 仁田 羽鳥 和夫
- 野口 大久保武義
- 原田 根津健治郎
- 根深 丸山 和徳
- 下原 須藤 博英

【上野地区】

- 栄町 高橋 重光
- 山野田住宅 横山 乙和
- 県営住宅 桑原 力
- 朝日町 高橋 幸男
- 四郎兼 平野 英男
- 東善寺 北村 憲一
- 上町 清水 正文
- 中央町 小林 欣造
- 田中町 保坂 佐七
- 神社町 田辺 博文
- 学校町 小林 順一
- 中屋敷 水品 芳子
- 寺尾 佐藤 昭二
- 木島 清水 健一
- 沖立 星名 徳一
- 伊友 黒島 善一
- 高原田 武田 忠平
- 坪山 高橋 重
- 霜条 蔵品 弘
- 鶴吉 田村 一策
- 木島公舎 渡辺 直樹
- 上野 富井 初枝
- 新町新田 渡貫 力夫
- 三領 水品 忠雄
- 小根岸 高橋 菊松

収蔵民具で 昔のもちつきを体験

歴史民俗資料館



キネつきもちちはねばります



ボクは六杯目です

歴史民俗資料館では、先月二十六日に、収蔵民具を使つてのもちつきを行いました。
午前十時からのもちつきには、伊友老人クラブの方々から全面的に協力していただきました。
近所の子供たち四十人ほどが見つめる中で、支度ができました。もちつきの道具は全部寄贈いただいたものです。

カマドにまきをくべ、角セイロでもち米をふかし、それを木のウスとキネでつきます。つきあがれたもちは一斗五升（約二十三キロ）です。これは大人の仕事です。きな粉は子供たちが石ウスで代わり代わりひきました。

つきたてのちは一味違います。雑煮や自分たちでひいたきな粉に大きなもちを入れ、チビっ子たちは満腹になるまで食べました。
この後、上村政基さんから「お正月様」の話をいただきました。

た。



「お正月様」に聞き入るチビっ子

「百年ちよつと前の話です。いろいろのこを見てくれるコトの神様がその年の仕事を終えて、山の上で正月の神様と行き合いました。コトの神様がこれから行つても食べるものもないといふと、正月の神様は、あなたがいつしうけんめいやってくれたんで私が行くと、お正月がきた、お正月がきたとみんながこんなごちそうをしてくれます。油のような酒に雪のようなマンマ、紅のようなトト。あなたはゆつくり休んでください。といつて別れました。一年を反省してからお正月様にお参りをし、それから年取りのごちそうを食べ、いいお正月を迎えてください。」
子供たちは、昔のもちつきを体験したり、「お正月様」の話をしていたいたり、心までが満腹になった様子でした。

くらしとけんこ

カゼの予防

カゼは、昔から万病のもとと言われています。カゼくらいとあなどってはいけません。日本人は年に四、五回ずつカゼをひいているとの報告さえあります。しかもその多くが寒い冬に集中しているようです。

私たちのどは、一定の温度と湿度によって保たれています。ところが冬になると、寒さと乾燥した空気のためにそのバランスがくずれて、カゼのもとを作り出してしまいます。

〈カゼをひかないために〉

- ①不規則な生活をしない
- ②偏食をしない
- ③体力をつける
- ④厚着をしない
- ⑤マスク・ウガイを励行する
- ⑥二時間に一回は換気をする

カゼは、体力のない人にとっては油断のできない病気です。抵抗力のないお年寄りや病人、そして子供などが

いる家庭は、特に注意が必要です。

カゼは、お年寄りに潜在しているいろいろな病気を引き起こしたり、乳幼児の発熱、下痢、おうと、ひきつけなどを起こしたりします。周囲の人がよく観察して早く発見し、初期のうちに治すことがたいせつです。



〈カゼをひいた人には〉

- ①安静、保温に努め、十分な睡眠を取られるようにしてあげましょう
- ②消化のよいものをあげましょう
- ③番茶など水分を十分にあげましょう

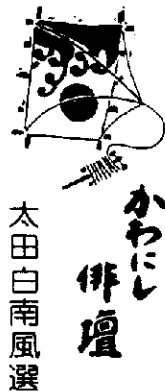
戸籍の窓から

昇天——ごめい福を祈る

茂野ハルイ 高原田 五〇
清水 善平 下平新田 七〇
星名 トミ 沖立 七八
小川 キサ 岩瀬 七九
小林憲一郎 上野 七九
高橋 モト 坪山 八五

たかさこ——ご円満に

○新郎 登坂 正平 岩瀬
○新婦 高倉 朋子 千葉県から
○新郎 中村 秀三 大白倉
○新婦 廣井 理恵 神奈川県から



太田白南風選

霜条 星名 星光
年賀客大炉を囲む大炭火
初詣村一本の道を踏む
降り積る雪の結晶きらめきて
雪卸すすっぱり雪の中に入り
雪積る真昼の空の暗やみて
野口 野沢 寅生
留守の家に小さき注連を飾りけり
節臼父の達者で在るうちは

○新郎 北堀 明 小白倉
○新婦 春日 栄子 高柳町から
○新郎 田口 昭 木落
○新婦 稲毛 光子 東京都から
○新郎 村越 恵二 野口
○新婦 五十嵐栄子 東京都から

うぶ声——おすこやかに

田中 抄 正樹 二男 朝日町
滋野 貴洋 義和 長男 野口
丸山 和哉 正樹 長男 新町新田
高橋 美希 郁男 長女 坪山
小川 千春 勲 三女 發電所通東
保坂 貴弘 康栄 長男 大白倉
関口明日香 宗一 長女 中島町

誰彼に恥ずることなき初詣
横町に犬の吠える師走かな

岩瀬 小川 益栄

定職のなき身も忙し年の暮
煤払う窓に舞い来しぼたん雪
山の秀の樹氷きらめく朝日かな

中仙田 左木 人

雪のせていよいよ紅き実南天
名鐘の一打に年の明けにけり
冬木立より合う中の松一樹

三領 水品 律

何はともあれ雪卸し年用意
雪国の仕事始めの雪卸し
三ヶ日うちは袖を着て厨

12月の交通事故発生件数

件数	死者	重傷	軽傷	合計
1	2	12	24	39
1	3	18	27	49
0	0	1	1	2
0	0	1	1	2
0	0	0	25	25

()内は前年比較

心配ごと相談

- 1月16日……克雪センター
- 1月23日……総合センター
- 1月30日……総合センター
- 2月6日……上野連絡所
- 2月13日……橘出張所

※時間は午後一時から三時まで。

物をよく見て何が詩の焦点であるかを確めて詠すること。徒らに理屈づけをしないで簡明に。
今年も沢山のご投句を期待いたします。

雪山初空

選者近詠

神として三つ雪山初御空
お降りとなりて静かに夕暮る、
耳飾りゆらゆら光り春着の娘
初風呂の柚子の香残る夕餉かな
元朝の一献仏へたてまつる